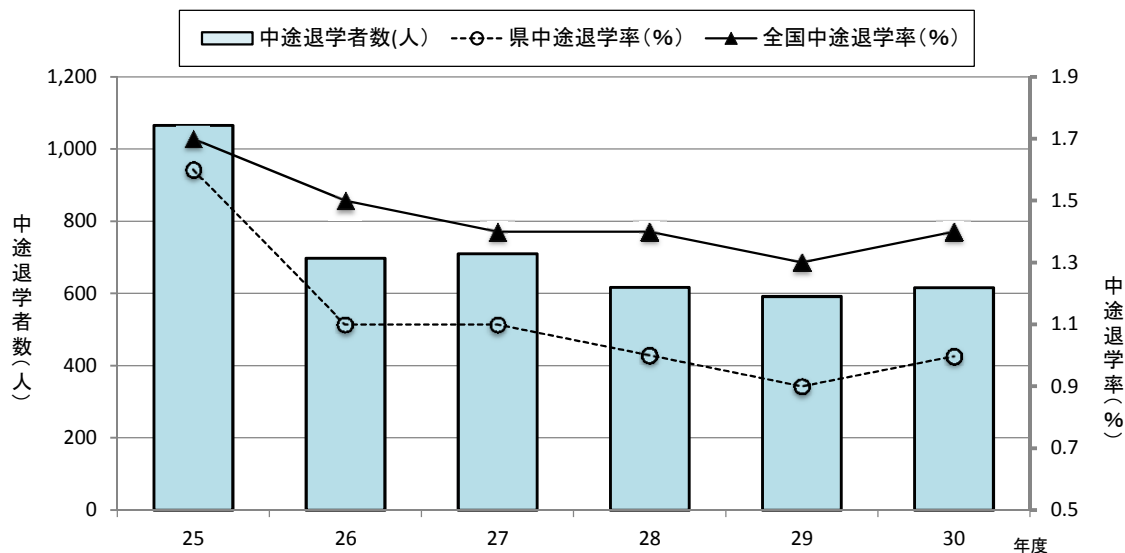


平成30年度 高等学校中途退学者の状況について

心の支援課

1 中途退学者数及び中途退学率の年度別推移

「中途退学者数」は過去4年間減少傾向にあったが、前年度よりわずかに増加
・中途退学の理由では「学校生活・学業不適応」「進路変更」の割合が高い。



年度		25	26	27	28	29	30
中途退学者数合計(人)		1,066	698	710	617	592	616
前年度増減(人)		-	▲ 368	12	▲ 93	▲ 25	24
中途退学率(%)	県	1.6	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0
	全国	1.7	1.5	1.4	1.4	1.3	1.4

(注) 1 調査名:文部科学省「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
2 平成30年度調査対象校:県内公私立・高等学校(通信制含む) 107校
3 (中途退学率) = (中途退学者数) ÷ (年度当初の在籍者数) × 100 [%]

2 中途退学の理由

退学理由	平成30年度		
	県		全国
	人数(人)	構成比(%)	構成比(%)
学業不振	30	4.9	7.8
学校生活・学業不適応	242	39.3	34.2
進路変更	184	29.9	35.3
病気、けが、死亡	35	5.7	4.3
経済的理由	2	0.3	2.0
家庭の事情	20	3.2	4.2
問題行動等	18	2.9	3.8
その他の理由	85	13.8	8.4
合計	616	100.0	100.0

3 課題と取組の方向性

(1) 課題

- ・高校に入学したものの、学校生活を続ける中で自らの心や体の状態が適応せず、結果として進路選択にずれが生じ、「中途退学」や「進路変更」する生徒がいる

(2) 取組の方向性

① 学校生活・学業不適應の早期発見と早期対応

- ・入学前後、中高連携による生徒支援に関わる丁寧な情報の共有、引継ぎ
- ・入学時のオリエンテーションなどを利用したスムーズな高校生活への移行
- ・学校生活における良好な人間関係や信頼関係づくりを推進

② 基礎学力の定着や学習意欲を高めるための授業改善及び学習支援の工夫

- ・生徒の実態に合わせ、授業の方法や教材などを工夫した「わかる授業」の実践
- ・学習の躓きや基礎的な学力に不安をもつ生徒への「学びなおし」講座や補習授業等の実施
- ・高校生活の目的意識を高めるためのキャリア教育の推進

③ 中途退学者の社会的な自立を見据えた支援の充実

- ・学習や就業のための技術習得へ向けた各種学校との連携
- ・就業支援に向けてハローワークなどの公共機関や民間支援団体との情報連携
- ・「新たな進路のために（各種相談窓口の案内）」令和元年度版の活用
- ・引きこもり防止など包括的な支援にむけ「子ども・若者サポートネット」など支援機関との情報連携